

議会の手帖 213

～ いつも市民の一番身近に ・ いぬやま市議会だより ～

2026.5.1



2月の各議会で
犬山市のこんなことが
決まりました。

2月臨時議会

(1日間・2月2日)は

○市長提出議案……………2件

2月定例議会(27日間・

2月25日～3月23日)は

○市長提出議案……………46件

が提出されました。

すべての議案名と結果は、
犬山市議会ホームページを
ご覧ください。



議決結果一覧
はこちら

今号では
この中から
1つを選びました

Pick up

第19号議案 犬山市市営住宅の設置及び管理に関する
条例の一部改正について
民間賃貸住宅の空き部屋を活用した借上市営住宅
制度を導入します。

〔内容〕民間事業者等が保有する住宅を市が借り上げ、
市営住宅として供給する仕組みへ移行します。

こんな質問が出ました。

Q 市営住宅の賃貸契約に係る連
帯保証人を不要とするのこ
とだが、国の方針について具
体的に伺いたい。

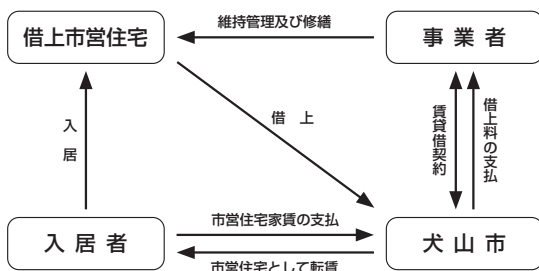
A 国の通知では、保証人の確保
を市営住宅への入居の前提と
することから転換すべきとし
ています。令和6年4月の国
の調査では、愛知県内で連帯
保証人を不要とした事業主体
数が6割となっています。本
市としても保証人の確保を条
件とせず、借上市営住宅に入
居できるように条例改正するも
のです。

AQ 物件選定基準はあるか。

借り受ける住宅の基準は、公
営住宅等整備基準で定められ
ています。一戸当たりの標準
的な床面積が25平米以上であ

ること。住戸には台所、水洗
便所、洗面施設、浴室、テレ
ビ受信設備、電話配線がある
こと。通路の階段には補助手
すり、または傾斜路が設けて
あること等としています。ま
た、より具体的な基準を借上
市営住宅の採用基準として定
める予定です。

○事業のしくみ(イメージ図)



■犬山市教育委員会
教育長の任命に同意

▽勝村 偉公朗(新任)

犬山市教育委員会教育長
「滝 誠(たき まこと)」
氏の任期満了(令和8年
3月31日)に伴い、後任
者を任命するに当たり、
第48号議案「犬山市教育
委員会教育長の任命につ
いて」が提出されました。
議案質疑では、市長及び
現教育長が答弁、その後、
全議員が同意しました。
後任の勝村偉公朗(かつ
むら いくろう)氏は教
職に就かれてから42年、
そのうち39年間の長きに
わたり、犬山市の教育現
場でご尽力されました。
市議会としても、新教育
長との意見交換会などを
設けていきます。

令和8年度予算案をチェック 税金の使い道が決まりました



市長から令和8年度の予算案が提出され、本会議や各常任委員会にて審査しました。その結果、全ての予算案が提案どおり可決され、令和8年度の税金の使い道が決まりました。その中から、主な事業を紹介します。



令和8年度予算
(新規主要事業)
はこちら

一般会計予算
313億9,098万円

特別会計・企業会計予算
200億3,896万円

合計
514億2,994万円



158万円

**中学生平和使節団が
知覧特攻平和会館を
訪問**
市内在住の中学生を知覧特攻平和会館（鹿児島県南九州市）へ派遣します。



9,576万円

**市長選挙、県知事選
挙、県議選挙、市議選
挙を執行**
各選挙における事前準備及び投票開票事務を行います。



6,936万円

**交通弱者のための総
合的な公共交通実施**
わん丸君バスのダイヤ見直し、楽田の一部地区における公共ライドシェアの運行、65歳以上のタクシー補助を行います。



①2,200万円
②1億3,610万円

医療機器購入費を補助
市の中核的な医療機関である総合犬山中央病院が導入する①X線装置②MRI・血管撮影装置の購入費を補助します。



8,090万円

**子ども屋内遊戯施設
「わん！だーらんど」開設**
令和8年4月にヨシヅヤ犬山店2階にオープンします。



3億4,532万円

**小中学校全児童生徒の
給食費無料化**
令和8年度は、給食提供がある小中学校へ通う全児童生徒の給食費無料化を実施します。

討論

令和8年2月臨時議会

(第1号議案) 令和7年度犬山市 一般会計補正予算 (第8号)	反対	久世 議員	物価高騰は世代に関係なく皆消費するものである。これ以上世代間の不公平感を増やしてはいけぬ。物価高騰対策として、一律、市民の方に還元をしていくというのが筋である。
(第2号議案) 令和7年度犬山市 水道事業会計補正 予算 (第3号)	賛成	畑 議員	物価高騰で現役世代の負担も深刻だが、高齢者は収入増が難しく影響が大きい。現役世代への支援も講じつつ、公正の観点で支援の厚みを調整した本議案は妥当であり賛成する。

2月臨時議会の2件の市長提出議案および2月定例議会の46件の市長提出議案のうち、全員一致を除く賛否については下記のとおりです。また、主な討論の内容については左記のとおりです。

議会の主な議案等にチェック
提出議案に賛成・反対しました



令和8年2月定例議会

(第25号議案) 令和8年度犬山市 一般会計予算	反対	岡 議員	財政調整基金減少について、予算編成過程で取り崩しを減少させるべきだった。また、都市計画道路蝉屋長塚線は、住民合意なしで予算化すべきでなく、新羽黒保育園（にじろ保育園）の民間委託は、地方自治の後退となる。
	賛成	柴田 議員	令和7年度比較で、財政調整基金からの繰入金約2億6000万円減額され、健全財政を意識した予算編成を行ったと評価できる。物価高が続く厳しい財政状況の中、子育て支援や都市基盤整備の推進のため「必要なところにくらしを支える予算」として編成された。
(第32号議案) 令和8年度犬山市 下水道事業会計予算	反対	岡村 議員	今年4月から、下水道使用料、農業集落排水処理施設使用料の約25%という大幅な引き上げにかかる予算が計上されており、決してわずかな負担増ではなく、市民生活に与える影響が大きいと考える。
	賛成	光清 議員	予算は、昨年の9月議会の条例改正を踏まえて提案されたものであり、歳出として不明水対策である管路改良工事などが計上されており、今後の下水道事業の運営には不可欠な内容となっている。

すべての
賛否一覧



令和8年2月臨時議会 議案等の賛否 (全員一致以外のもの)

○：賛成 ×：反対 議：議長 除：除斥 退：退席 欠：欠席

議案等 番号	件名	議決 結果	日本共産党 犬山市議団		公明 クラブ		創犬会					清風会			丸山 幸治	ビアン キ恵子			
			小川 隆広	岡 覚	岡村 千里	島田 亜紀	諏訪 毅	増田 修治	光清 毅	小川 清美	畑 竜介	玉置 幸哉	柴田 浩行	大沢 秀教			鈴木 伸太郎	沼 靖子	久世 高裕
第1号 議案	令和7年度犬山市一般会計補正予算 (第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	○
第2号 議案	令和7年度犬山市水道事業会計補正予算 (第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	○

令和8年2月定例議会 議案等の賛否 (全員一致以外のもの)

○：賛成 ×：反対 議：議長 除：除斥 退：退席 欠：欠席

議案等 番号	件名	議決 結果	日本共産党 犬山市議団		公明 クラブ		創犬会					清風会			丸山 幸治	ビアン キ恵子			
			小川 隆広	岡 覚	岡村 千里	島田 亜紀	諏訪 毅	増田 修治	光清 毅	小川 清美	畑 竜介	玉置 幸哉	柴田 浩行	大沢 秀教			鈴木 伸太郎	沼 靖子	久世 高裕
第8号 議案	犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	×	○	○	×
第9号 議案	犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	○	×	○	○	○
第25号 議案	令和8年度犬山市一般会計予算	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
第32号 議案	令和8年度犬山市下水道事業会計予算	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○

高齢者の健康づくりについて



創代会
光清 毅

Q 健康づくりのため、現在市が行っているフレイル予防の取組の状況は、どうなっているのか。

A 取組としては、節目年齢を対象とした目と口の健康診やセルフチェックを実施しています。また、フレイル予防スクールや木曜サロンでの教室の実施のほか、地域サロンの運営を支援しています。

Q 健康づくりに役立つサロン活動の現状はどうなっており、その課題はどうか。

A 市内には現在237か所のサロンがあり、茶話会やカラオケ、体操教室など多岐にわたる活動を行っています。一方で、活動のマンネリ化や運営の担い手不足等があり、自主性を損なわないような支援のあり方が課題と考え

ています。

Q 新年度から高齢者支援課と健康推進課が別の部分かれるが、高齢者の健康づくりにどのように取り組む方針か。

A 機構改革により両課は異なる部になります。高齢者の暮らしをサポートするためには、全庁的な連携が不可欠です。目的や課題に応じ、柔軟かつ機動的な体制で、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、必要な支援を続けます。



自転車活用推進計画について



創代会
畑 竜介

Q 木曾川流域での広域サイクリングルートの構想が進む中、計画策定において、本市の観光資源である犬山城や城下町、木曾川河畔空間を活かし、サイクリストが「立ち寄り、休み、消費する」滞在型の観光につなげていく考えはあるのか。

A 自転車活用推進計画は、「都市環境」「健康増進」「観光地域づくり」「安心・安全」の4つの柱で検討しています。城下町周辺や木曾川河畔空間への導線を意識したルートを検討するとともに、観光地へのサイクルラック整備など滞在環境の充実を進めていきます。また、木曾川流域の広域サイクリング構想との整合を図りながら、自転車ネットワークとしての位置づけ

も検討していきます。

Q 自転車利用の増加を踏まえ、歩行者・自転車・自動車が安心して共存できる環境づくりをどのように進めていくのか。

A 現道幅員の中では通行帯を構造物で分離する整備は困難なため、路面標示により自転車の通行場所を明確にしていきます。また、事故発生箇所などのデータを参考に安全対策を進め、事故件数などの指標により計画の進捗を確認していきます。



サイドプレイスについて



創犬会
増田 修治

Q 本市は、幼少期に対する環境整備に力を入れていますが、中高生向けの居場所づくりについてはどのような考えか伺う。

A 東児童センターの改修や、ヨシヅヤにて屋内遊戯施設を整備していますが、乳幼児・小学生向けの整備であり、中高生をターゲットとしたものではありません。児童センターは18歳までが対象ですが、中高生の利用が低いのが現状です。児童センターを取り巻く環境も変化しておりますので、ある部屋の一部を中高生専用にするなど使用法を模索してまいります。

Q 心理的遮蔽の少ないサイドプレイスの存在が重要視されており、門戸広く様々な方が利用できる公施設は、その機能を持

っているものだと考えるが、一例として学習等供用施設の利用状況を伺う。市内に計6か所施設があり、誰でも無料で利用可能ですが、現在の利用率は平均28%です。利用者についても、定期的な利用をされる方がほとんどであり、サイドプレイスとして利用できる余地は十分にありません。今後は施設利用について、若い年齢層をはじめ、幅広い世代に情報が届くよう、チラシ作成や広報などを通じて、施設利用の周知に努めてまいります。



原市政1期目最後の半年に向けた想いや意気込みは？



創犬会
小川 清美

Q 原市政1期目最後の半年を迎える。市民のくらしは物価高騰により厳しいものがあり、行政にとっても負担が重くなっている状況にある。そうした中で様々な事業が組み込まれ、市長にとっては、この半年が重要と考える。そこで、この半年における「想いや意気込み」などについて市長に伺う。

A まず、この半年は「成果の確実な定着」と「次の犬山づくりに繋げる基盤強化」の両立を図る極めて重要な期間と位置づけています。この考えとともに、施政方針の令和8年度当初予算について、「今の安心」「未来の成長」、更には「波及」という言葉のもと「投資を意識した」と表現しました。この表現のとおり、

今年度何かを完了させる、あるいは目途をつけるといった、特別な意識をしているわけではありませんが、約束や判断したことについては、時間軸を強く意識しています。選挙時に掲げた公約のもと、4年間という経過と現状を踏まえて、令和8年度はひとつの区切りと位置付け、市政運営に取り組んでいきます。その中で、犬山にずっと住み続けたい、これから犬山に住みたいと思ってもらえる犬山づくりにつなげていきます。



発達段階に応じた包括的 性教育の導入について



公明
クラブ
島田 亜紀

Q 先日行われた「いちにち女性議会」において包括的性教育の導入を求める質問があつたが、市独自に「いのちの学習」芽吹き」という学習教材を作成し、義務教育9年間で体系的に学んでいるとの答弁でした。その教材はどのように作られたのか。経緯と活用方法を伺う。

A 平成13年度より教育研究会専門委員会の健康教育研究委員会が中心となつて作成されました。小学校では年1時間、中学校では年2時間実施し、プライベートゾーンや心と身体の距離感など、自分を大切にすることを育む学びを行っています。

Q 女性議会では、包括的性教育の考え方を継続的に発展させていくため、地

A 市では「いのちの学習」として、中学3年生が地域のお母さんや赤ちゃんと触れ合い、出産や子育ての話聞く授業や、助産師・保健師による性感染症の学習、臨床心理士による思春期のこころの変化を学習するなど、命の大切さや多様な価値観を理解し、自分らしく生きる力を身につけられるよう、今後も取組を進めてまいります。

域の人材の活用や専門家との連携を進めていきたいとあつたが、具体的な取組は検討されているか。



地面埋込型照明の導入について



日本共産党
犬山市議
小川 隆広

Q 犬山高校での意見交換を実施し、その中で地面埋込型のLED照明について、夜間の安全性の向上や若者の集客を兼ね備えた提案をもらった。本町通りでの提案をもらったが、難しいと考えられることから、今後ハード面で整備される「かわまちづくり計画」における木曾川河畔整備で、このような新しい演出を提供できないか。

A 令和7年8月に登録された「犬山かわまちづくり計画」は、現在、河川管理者である国土交通省と工事施工内容や役割分担について協議を重ねている段階です。現時点では具体的な整備内容や設計等の詳細は決まっておりませんが、木曾川河畔内田地区の遊歩道を整備

していくにあたり、照明設備については空間の高質化や安全確保等の観点から、非常に重要な要素になると考えております。このため、今般、議員からご提案いただきました地面埋込型照明についても、良質な空間形成において有効であると考えておりますので、河川法をはじめとした各種法令等を確認しながら、整備を進める上での検討事項の1つとして、参考にさせていただきます。ただできればと考えております。



さら・さくらの湯
今後の在り方について



創犬会
玉置 幸哉

Q 11月議会にて「さら・さくらの湯」赤字解消のため、市外の方の入浴料金値上げの質問をしたが、

明確な回答がなく、3月末までには方向性を出すとのことであったがいかがか。

A さら・さくらの湯を存続するかは、「利用状況」

「持続可能な運営」「市民健康館全体として果たすべき役割」の3つの観点から分析と検討をし、残すことと判断しました。まず「利用状況」については、コロナ禍で4万4,000人まで落ち込みましたが、その後は回復し、令和7年度は8万7,000人の利用が見込まれており、利用者の半数近くが市外の方ですが、市民ニーズも高いことが確認できました。

次に「持続可能な運営」

については、平成13年度の開館以来、消費税率の引き上げに伴う料金改定以外の見直しは行っていませんでしたが、令和9年4月から犬山市民で特に常連の方を優遇する料金体系としつつ、全体として引き上げ、入浴料金の見直し、収支の改善を図ります。最後に「市民健康館全体として果たすべき役割」については、市民健康館に保健センターを集約し、機能の高度化を目指します。



新郷瀬川改修事業（富士橋）
について



公明
クラブ
諏訪 毅

Q 新郷瀬川改修事業（富士橋）の現状と今後の取組

について伺う。

A 新郷瀬川については、愛

知県において、平成21年3月に策定した河川整備計画に基づき、塔野地橋から、県道多治見犬山線の富士橋上流までの3・4キロの区間を河川改修区間と位置づけています。平成22年度より河川改修工事に着手し、現時点では、富士橋より下流約3・0キロ区間の整備が概ね完了しており、残り400メートル区間となっております。この区間の河川改修では、富士橋の架け替えと併せて、県道多治見犬山線についても、桜海道交差点付近までの区間を幅員16メートルへ拡幅する計画として

います。令和7年12月9日に県道拡幅と迂回路に

関係する地権者の方を対

象に事業内容に関する説明会を開催しました。令和8年度からは、河川改修及び県道拡幅に必要な範囲の測量を進める

とのことです。犬山市においては、残り400メートル区間の河川改修、富士橋の架け替え及び県道拡幅の早期完了に向けて、継続して愛知県へ要望するとともに、地元調整など積極的に協力してまいります。



保健センターの機能強化について



創犬会
柴田 浩行

Q 保健センターの課題と今後の取組について伺う。

A 保健センターは建築から40年が経過し、老朽化に起因した維持管理費の増加が見込まれます。市民健康館の更なる活用のため、令和10年4月に保健センター機能を移転することとしました。成人保健と母子保健を集約し、全ての市民の健康づくりを一元的に実施し、ワンストップでオーダーメイドの健康づくりの支援を行う施設とするために調整を進めていきます。

Q 市長は市民健康館のあり方について検討を重ねた結果、保健センターの機能を集約するという政策判断を行った。集約によって保健センターの機能強化はもちろん、市民健康館の機能強化が図られ



なければいけないと考える。機能強化について市長のお考えを伺う。

A 温浴施設のある市民健康館に保健センターを集約することで、行きたくなる場となり、子どもから大人まで健康が続く仕組みに変えることが核心です。健康づくりのワンストップ化と、母子保健と成人保健の一元化を活かしながら、世代間交流の場にもしたいと考えています。集約で公共施設の価値と実効性を高めていきたいと考えています。

市役所の窓口受付時間の短縮について



丸山 幸治

Q 市役所の窓口受付時間が短縮された目的は何か。

A 1つ目は行政サービスの向上。2つ目は行かなくてよい市役所の推進。3つ目は職員のワークライフバランスの充実です。

Q 職員の時間外勤務はどの程度削減できるか。

A 時間外勤務の実績は、12月は前年と比較して180時間減少しましたが、あくまでも職員のワークライフバランス充実の実現に向けた副次的成果と捉えています。

Q 火曜日の夜間窓口及び日曜窓口については、今後継続されていくか。

A 窓口業務短縮を開始した12月以降の火曜延長窓口や日曜窓口の状況を確認したところ、利用件数が減少しているわけではなく、いずれもニーズがあ



るため、現時点においてやめることは考えていません。

Q 市民から苦情や意見などが寄せられていないのか。また何か市民に支障が生じていないか。

A 窓口時間短縮を開始してしばらくの間は、このことをご存じない方からご意見をいただくこともありませんでしたが、大きなトラブルが発生したことはありませんでした。

令和8年度、南部の道路等の
工事予定をうかがう



清風会
鈴木伸太郎

Q 楽田の長塚と羽黒の蟬屋

を結ぶ「都市計画道路蟬屋長塚線」、説明会で浮き彫りとなった課題をどうするののか。

A 9月と10月に開催した説明会では、交差する道路の通行方法の変化や日陰騒音など住環境に対する影響などのご意見をいただきました。関係機関と調整を図り、いただいたご意見に対する説明を行う予定です。

Q 山の田公園前交差点から北に400m、北行車線を、車両や交通量に適した通常より強固な舗装で改修を実施します。

A 五ヶ村排水区、巾地区の調整池の課題解決策は、3月末までに堆積した土砂をしゅんせつしました。しゅんせつ作業と併せて、ユスリカを誘き寄せるLEDライトを、7月を目途に設置する予定です。ユスリカの発生を定期的に確認し、適切な維持管理を行っていきます。

Q 市道楽田桃花台線（犬山総合高校北側の市道）拡幅工事の詳細は。

A 荒井池付近から荒井川と交差する橋まで、約180m区間の拡幅工事（幅員5mの車道に両側1mの路肩を加えた幅員7m）を実施します。

Q 市道犬山公園小牧線の舗装工事の内容は。



子どもの声が届くまちづくりについて



清風会
沼靖子

Q 市内四中学で行われている主権者教育で出たアイデアの一つとして、南部中学校では「男子トイレ」で用を足している姿が見えないようにして欲しいという子どもたちの声があった。こういった子どもたちの声を、市はどう受け止めているのか。

A 男子トイレの一部については、現地を確認した上で、廊下からの目隠しになるものを設置する方向で検討しています。すぐに対応が難しい場合もあります。子どもたちや保護者の声を聞きながら、よりよい学校環境づくりに努めてまいります。

Q 子どもたちの声を聞くまちづくりについて、市長の考えは。

A まちづくりにおいて、子どもたちの声を聞くことは、重要なことと考えています。そのため手段の一つが策定中のこのもの権利条例です。条例作りがゴールではなく、策定後こそ、子どもたちが届くまちづくりを進めていきたいと思っています。

Q 市内でのフォロアアップ体制はどうしていくか。

A 関係する部署とファシリテーターの方が、お互いに連携し合いながら、責任をもって取り組んでいきます。

Q 子どもたちの声を聞くまちづくりについて、市長の考えは。



後援名義使用許可について



ピアンキ 恵子

Q 犬山にはたくさんさんのボランティアグループが、色々な活動の中で市内外や海外に向けてイベントを企画し、活躍している。

そのイベントに後援名義があるというのは、その企画に対しての信頼につながる。市の考える後援名義の意義は何か。

A 後援名義は、犬山市の宣伝効果が期待できることや、教育・芸術・文化・スポーツ・観光・産業の振興や、市民の福祉の増進などに寄与するとして、実施を推奨することが、市が後援名義を承認する意義と考えています。

Q 今回この質問をした理由は、一部の団体が申請する前に窓口で断られたためである。申請書を担当課が受け取り、審査され、その上で不承認は理解で

きるが、受付する担当課によって、その扱いにばらつきがあるのはなぜか。書類での審査を行うことなく、後援名義使用の承認や不承認の決定を行うことはできません。この機会に改めて幹部連絡会などを通じて、後援名義の使用承認に対する手続きについて、全ての課に周知していきます。

A 書類での審査を行うことなく、後援名義使用の承認や不承認の決定を行うことはできません。この機会に改めて幹部連絡会などを通じて、後援名義の使用承認に対する手続きについて、全ての課に周知していきます。

児童クラブの運営には、職員体制の充実が大切ですが、人員を確保できない状況です。令和4年度から民間委託により職員を確保でき、多様なあそびを提供できる体制を構築できるのではないかと考え、検討を進めてきました。また、児童センターの運営も委託することで人員配置の向上やコスト削減効果が期待できると考え、合わせて検討することとしました。

児童クラブ・センターの運営、民間委託でいいのか！



産党 議員 岡村 千里
日本共産党 犬山市 岡村 千里

Q 第1期犬山市子ども計画に児童クラブ・センター運営の民間委託が位置づけられている。これまでの市の直営から大きく方針を変えるものである。現在の検討状況と今後の見直しは怎么样了なっているか。

者の想定について、どう考えているのか。また、支援の質をどのように確保していくのか。

A 民間委託を行うにあたって、民間ならではの提案を求めたいと考え、プロポーザル方式が最適と考えています。事業者の想定については、全国で児童クラブ等の事業を実施している事業者を想定しています。民間委託を行う場合でも、責任は市にあることは変わりありません。委託における質を確保するため、適切な仕様を決定し、事業者選定を行っていきます。

事業者の選定方法や事業



Q 事業者の選定方法や事業



市役所ミスによる誤徴収の
債権消滅時効について



清風会
柴山 一生

Q 市役所のミスで誤徴収した料金は、時効であつても返金すべきではないか。

児童クラブの利用手数料が平成28年に改定され、二人目の利用者は手数料半額となったが、犬山市は一部で半額とせず全額徴収していた。過去5年分については返金することとしたが、それ以前に分については時効という事で返金しないとされた。しかし、これは理不尽ではないか。市が間違えて取りすぎたのだから返すべきではないか。また、過去に他自治体で同様なケースで返金があつたか調査すべきではないか。

A 条例や要綱を整備することで、法律で定める時効を消滅させることなく誤徴収分を返金することはできません。固定資産税

は地方税法で定める消滅時効の期間を越えて誤徴収分を返金してはいますが、過去の最高裁判例において、国家賠償法による損害賠償請求を求めることができるとされ、消滅時効は民法の適用を受け20年となり、返金しました。本件は根拠となる類似の判例等がなく、返還は難しいという判断をしましたが、引き続き国や県の通達や関連する裁判例、司法の判断を注視し、他市が返還した事例も整理して、返還する方法を探っていきます。



中日ドラゴンズ二軍本拠地の
誘致について



清風会
久世 高裕

Q 中日ドラゴンズ二軍本拠地の誘致について、市の考えは。

犬山の新しい可能性につながる挑戦として、市も誘致に前向きに取り組みます。観光都市としての魅力や歴史文化との融合、愛知・岐阜双方からのアクセスの良さなど、犬山ならではの強みを活かした提案をしていきます。商工会議所からも誘致要望があり、市民の期待も高まっています。

候補地として五郎丸東地区は考えられているのか。新駅設置の可能性は。

五郎丸東一丁目も候補地の一つとして検討しています。ただし、駅から1km圏外であることや、高圧線、河川の存在など土地条件に課題があり、現時点では優先順位は低いと考えています。しかし、候補地の選定にあたっては、これからの犬山のまちづくりとの関連もすごく重要なことですから、五郎丸東一丁目を進めている新しいまちづくりとの相乗効果や鉄道駅設置の可能性の向上などが期待できる箇所が望ましいと考えています。

A 候補地として五郎丸東地区は考えられているのか。新駅設置の可能性は。

五郎丸東一丁目も候補地の一つとして検討しています。ただし、駅から1km圏外であることや、高圧線、河川の存在など土地条件に課題があり、現時点では優先順位は低い



自然環境保全について

Q サントリーホールディングス(株)との協定書に基づき、犬山里山学センターを拠点に協働できる体制づくりをめざしていくと述べているが、具体的にどのような取組をしていくのか。また、東部丘陵の豊かな自然は犬山のもう一つの宝だと思う。

A 今井地区にある市が保有する森林をサントリーホールディングス(株)が主体となって、市民や小学生の参加型による方法で里山学センターの活用も含め整備し、将来的に散策環境を創出していきます。東部丘陵は、豊かな自然とふれあい、その恩恵を実感できる場所と考えており、新たな駐車場やトイレの整備の予定はありませんが、継続して研究していきます。

北側入口の亀割大池には駐車場はありますが、トイレ整備が必要。南側入口には、もみの木駐車場があったが閉鎖となり、地元協議で集落のすぐ奥で通行止めとなっている。南側は平成の名水百選に選ばれた「八曾の滝」の入口になっていた。地元との再協議も含め、南北入口に駐車場とトイレが必要ではないか。



日本共産党
犬山市議団
岡 覚



いちにち女性議会を

開催しました!

令和8年1月30日(金)、議場で「いちにち女性議会」を開催しました。

11名のいちにち女性議員がそれぞれの思いを込めて、質問を行い、原市長や市職員から、いちにち女性議員に熱意溢れる答弁がありました。いちにち女性議員からは「参加

前は、別世界だと思っていたが、議員や職員の人たちが自分の声を聞いて下さり、今後とも主体的に参加していきたいと感じた「市長の答弁があったのが良かった」「子どもをおんぶして質問していて感動した」など、様々な感想をいただきました。



※当日の動画及び議会の手帖(臨時号)を市議会ホームページに掲載していますので、是非ごらんください。



詳細はこちらへ

犬山総合高校・犬山高校との意見交換会 ～皆様のご意見とその回答～

犬山市議会では、市民が議会で発言する機会を確保し、議会への関心を高め、市民により身近で開かれた議会の実現に努めています。

今年度は、若い世代の率直な意見を聞くため、議員が市内の高校を訪問しました。

意見交換会フィードバックやYoutubeは
市議会HPをご覧ください。



犬山総合高校

3年生の皆さんと議員と一緒にグループワークを行い、課題テーマについて意見交換、生徒による意見発表を行いました。

●令和7年10月31日(金)

【テーマ】

- ・グループ1 「暮らしたいまちって?」
- ・グループ2 「地域ブランドをつくろう!」
- ・グループ3 「みんながつながるまちって?」
- ・グループ4 「脱炭素」
- ・グループ5 「人口減少 (少子化)」



●令和8年1月19日(月)

【テーマ】

- ・グループ1 「地域ブランドをつくろう」
- ・グループ2 「犬山らしい教育」
- ・グループ3 「訪れたくなるまちって?」
- ・グループ4 「犬山の魅力を発信するには?」
- ・グループ5 「人口減少 (少子化)」



犬山高校

1年生の皆さんの率直なスピーチに耳を傾け、意見交換を行いました。

●令和8年2月18日(水)

【テーマ】

- ・1年1組 「公園を増やそう」
- ・1年2組 「犬山市の魅力を他の地域の人に伝えるには」
- ・1年3組 「城下町の人気の食べ物」
- ・1年4組 「モンキーパーク、モンキーセンターを
リノベーション」
- ・1年5組 「若者に愛される安心安全なライトアップ城下町」
- ・1年6組 「安心安全なまちにするために交通設備を整える」
- ・1年7組 「城下町の設備の不足について」



令和8年1月25日開催 市民との意見交換会

犬山市議会は、犬山市議会基本条例に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、市民との意見交換会を開催いたしました。

第1部では、あんどうりす氏（アウトドア防災ガイド）による「みんなで学ぶ ゆるっと防災」と題した講演会、第2部では常任委員会ごとにテーマを設け、皆さんの声を直接伺う形で意見交換を行いました。

たくさんのご意見・ご参加ありがとうございました。
分科会でいただいたご意見の一部を紹介します。



総務委員会 市民と考える防災

出席委員：副 沼靖子、丸山幸治、小川清美、岡 覚

No	市民からの意見	総務委員会の見解
1	桃太郎神社周辺の安全対策はどうなっているか。倒木により栗栖地区が孤立したこともあり、災害時の道路確保や、危険箇所対策についてどう考えるか。	災害時に地域を孤立させないよう、災害時の別ルートの確保など、県との連携を含め、様々な手立てを検討するよう当局へ求めていきます。
2	災害時には、外国人、要支援者、ペット同行避難など多様な課題への対応が求められる。こうした中、自主防災会の役割など、地域防災力を高めることについてどのように考えるか。	地域防災力を高めるためには、日々の地域でのコミュニケーションが不可欠と考えます。そのため、地域で行われる自主防災会の活動等を広く市民に周知し、避難訓練などを通して交流していけるよう進めていきます。

民生文教委員会 未来の図書館を考えよう

出席委員：正 久世高裕、副 増田修治、小川隆広、島田亜紀、鈴木伸太郎、柴田浩行

No	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	蔵書は多いが本を探す楽しさが少なく、背表紙中心で選びにくい。新刊コーナーの魅力不足、分類や案内が分かりにくい。	ソフト面である本の並べ方の工夫や特集、企画コーナーの設置、司書による手書きPOPや今月のおすすめ、ランキング表示の充実などを工夫し、「探したくなる図書館」づくりを進めるべきと考えます。
2	本館駐車場からの出庫が危険で、特に右折で県道に出る際タイミングが難しい。歩行者も多く恐怖感がある。足の不自由な方、車いす利用者には使いにくい。楽田ふれあい図書館つばさの方が利用しやすい。	犬山市立図書館は建築から35年が経過し、アクセスやバリアフリーの課題もあります。将来的な建て替えや大規模改修も視野に入れつつ、市民が気軽に立ち寄れる交流の場や、滞在したくなるような今後の図書館の在り方を検討していく必要があると市に提言していきます。

建設経済委員会 大丈夫!?犬山市の上下水道

出席委員：正 諏訪毅、副 光清毅、ピアンキ恵子、畑竜介、岡村千里、柴山一生

No	市民からの意見	建設経済委員会の見解
1	下水道使用料改定に関する説明会が行われたが、具体的な話があまりなくて、何を質問していいのか分からなかった。議会で話をした内容を知りたい。	令和7年9月定例議会で、下水道使用料の値上げや不明水について議論をしました。委員会として、今後も市民の理解を深めるとともに、公営企業としての適正化を進めることを意見集約しました。
2	議員として、下水道は公共性が高い中で使用者のみが負担すべきか、公費との役割分担や公平性を考えてほしい。	議会としては、令和7年9月議会で受益者負担を含めて一定の方向性を出しました。これからも、公平性を担保できるよう注視していきます。

表紙写真を募集します!!

犬山市議会では、より市民に親しみを持って読んでいただくための取組として、次号の表紙写真の募集をします。

●募集要件

- ・縦撮りを原則とし、圧縮等をしていない高画質画像
- ・データでの提供が可能。
- ・犬山市に関する写真(風景・人物・絵など)かつ、著作権の侵害に該当していないもので未発表のもの(人物を含む場合には本人の承諾を必ず得ること)。
- ・表紙に合わせるための画像の微調整に同意できる。
- ・写真使用料は無償とすることに同意できる。



●応募方法

- ・期限 令和8年6月29日(月)まで
- ・提出先 犬山市議会事務局
- ・方法 住所・氏名・連絡先・写真テーマ名を記入して、写真を記入して、写真を添付し、メールで応募
- ・結果 採用された方には犬山市議会事務局より事前に確認の連絡をさせていただきます。

編集後記

市議会広報委員会

光清 毅

今回の議会の手帖には、いつもの議会報告や一般質問などのほか、いちにち女性議会や市内高校との意見交換会、市民との意見交換会について掲載をしています。こうした場を持つことで、行政や議会に対する関心を高めてもらうとともに、貴重なご意見をいただくことができます。これからも機会を設けて、多くの市民の皆様の声を聞いていきます。

広報委員

■委員長 小川隆広

■副委員長 畑竜介

■委員

増田修治・光清毅・

島田亜紀・沼靖子

議長交際費はこのように使われました 令和7年度

交際費の項目	件数	支出額
葬儀弔電・供花	7	65,010
視察先等手土産	17	83,973
視察受入時茶菓子等	8	9,810
会合等	1	7,000
合計	33	165,793

令和8年3月31日現在 (単位: 円)

次回 6 月定例会 日程予定

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
					再開日	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
					議案質疑	
21	22	23	24	25	26	27
	議案質疑	全員協議会		委員会		
28	29	30	7/1	2	3	4
		最終日				

6月定例会で審議・審査する請願・陳情の受理は5月28日(木)正午までです。

今号の表紙

田口アキラ様の「犬山城下町」を使用させていただきました。ありがとうございました。



政務活動費の収支報告はこちら
(全ての収支報告を公開しています)